

2026年9月・2027年4月入学試験

大学院創造理工学研究科修士課程

建築学専攻

問題表紙

- ◎問題表紙を除いて、問題用紙が 7 ページあることを試験開始直後に確認しなさい。
- ◎解答用紙が 7 枚綴りが 1 組あることを試験開始直後に確認しなさい。
- ◎すべての解答用紙の所定欄に受験番号・氏名・志望研究指導名を必ず記入しなさい。
- ◎使わなかった解答用紙がある場合、解答欄に大きく×印を記入しなさい。使わなかった解答用紙も含めて、すべての解答用紙を提出しなさい。
- ◎解答用紙の裏面は使用できません。
- ◎選択した科目については、別紙の選択科目届け出用紙の選択科目欄に○を記入しなさい。

志望研究指導名	必ず受験する科目	選択する科目
比較建築史方法研究 歴史工学・建築表現史研究	建築歴史学	建築計画学，都市計画学，環境工学， 建築構造学，建築生産学，設計製図 のうち4科目
建築社会論研究 建築意匠論研究 建築情報論研究 建築空間論研究 建築芸術論研究	建築計画学 設計製図	建築歴史学，都市計画学，環境工学， 建築構造学，建築生産学のうち3科目
景観・地域デザイン研究 都市空間・環境デザイン研究 市街地再生デザイン研究	都市計画学 設計製図	建築歴史学，建築計画学，環境工学， 建築構造学，建築生産学のうち3科目
建築環境研究 環境メディア研究 建築防災研究	環境工学	建築歴史学，建築計画学，都市計画 学，建築構造学，建築生産学，設計製 図のうち4科目
建築構造デザイン研究 曲面構造研究 建築耐震工学研究	建築構造学	建築歴史学，建築計画学，都市計画 学，環境工学，建築生産学，設計製図 のうち4科目
建築材料研究 建築生産マネジメント研究 建築構法研究 時空間マネジメント研究	建築生産学	建築歴史学，建築計画学，都市計画 学，環境工学，建築構造学，設計製図 のうち4科目

【注意事項】

- 出題された7科目の中から5科目を選択しなさい。ただし、上表の通り志望研究指導ごとに必ず受験する科目、および選択する科目が定められている。
- 以下を満たしてない解答用紙は無効とする。
 - 解答用紙は各科目に対応したものを使用し、指定された場所に解答すること。
 - 解答用紙は表面のみを使用し、裏面を使用しないこと。
 - 解答用紙の受験番号、氏名欄以外に受験者を特定し得る情報を記入しないこと。

2026年9月・2027年4月入学試験問題

大学院創造理工学研究科修士課程 建築学専攻

科目名： 建築歴史学

問題番号

1

1. 以下の語について、建築学上その示すものを簡潔に説明しなさい。
 - 1) 棟持柱
 - 2) ミフラーブ
 - 3) 六分ヴォールト
 - 4) 通り土間
2. 以下のうちから4つを選択し、その記号を記しつつ、それぞれについて建築歴史学上の特徴を述べなさい。
 - a) ペルセポリス（イラン）
 - b) サン・ヴィターレ聖堂（イタリア）
 - c) ボロブドゥール寺院（インドネシア）
 - d) 平等院鳳凰堂（日本）
 - e) ピサ大聖堂（イタリア）
 - f) 日光東照宮（日本）
 - g) サグラダ・ファミリア（スペイン）
 - h) デッサウのバウハウス校舎（ドイツ）
3. 日本における文化財に関わる制度のひとつとして文化財保護法があるが、1950年の施行以来、文化財の概念と種類の拡充のため、法改正により新たな文化財が制定されてきた。このうち以下に挙げたa)～c)からいずれかひとつを選択し、それについて1)～3)を解答しなさい。
 - a) 登録有形文化財（建造物）
 - b) 重要文化的景観
 - c) 重要伝統的建造物群保存地区
 - 1) 上記にて選択した文化財が、文化財保護法改正により定められた年（改正年）を、以下から選び記入しなさい。

1954年 1975年 1996年 2004年 2018年
 - 2) 上記にて選択した文化財の具体例をひとつ挙げなさい。
 - 3) 上記にて選択した文化財の特徴を説明しなさい。

2026年9月・2027年4月入学試験問題

大学院創造理工学研究科修士課程 建築学専攻

科目名： 建築計画学

問題番号

2

共通する価値観(values)や趣向(taste)を持った, 合計3世帯(households)以上, 総勢12名からなるコーポラティブハウス(cooperative housing)を設計しなさい。

昨今の世界情勢(world situation)や社会的状況(social situation)により, 改めて人間がひとつの共同体(community)として集住する(living together)ことの意味が問われている。国や民族といった大きな単位が問題にされがちだが, それらはひとりの顔の見える人間たちの集まりである。

このコーポラティブハウスをそれらと同値の共同体と捉え, どのような価値観や趣向を共有する人たちが自由に設定し, その人たちが互いに協働する生活の場として設計しなさい。

[設計の留意点]

特に, コーポラティブハウスでは各住戸の占有空間(occupied space)がそれぞれの価値観や趣向を積極的に促進させる工夫された住空間(living space)であることと共に, 住民同士が互いの共通する価値観や趣向に基づいて多様なアクティビティ(diverse activities)を行える共有空間(shared space)の充実が求められる。設計者は最終的な設計に至る過程(process)で, それらをどのような空間とするか住民たちと既に十分に議論(discussion)し, 住民たちの自発的な考え(residents' spontaneous ideas)や個性(identities)をデザイン(design)に取り込んできたものと想定し, 設計を行なうこと。

[設計条件]

住民の総勢は12名とするが, 3世帯以上であれば世帯数とそれぞれの世帯ごとの人数は自由に設定して構わない(最大で12世帯まで可能)。ただし, 必要図面から世帯ごとの住戸の占有空間と世帯人数が読み取れるように家具の配置や文字などを用いて工夫すること。

敷地は都心から電車で約30分ほどの郊外にある。周囲は住宅地に囲まれているが, 北側に寺院の境内(temple area)が隣接しており, 大きな緑と借景(landscape)が見込まれる。建蔽率(building coverage ratio)・容積率(floor area ratio)・高さ制限(height limit)などの法的規制は存在するが, いずれも緩い敷地条件のため考慮せずともよい。各住戸の占有面積は自由とし, 住戸以外の室内共有空間を設けても構わない。ただし, 建築内の屋外共有空間も併せて延床面積600m²以内に納めること。構造・階数は自由とする。

[要求図面]

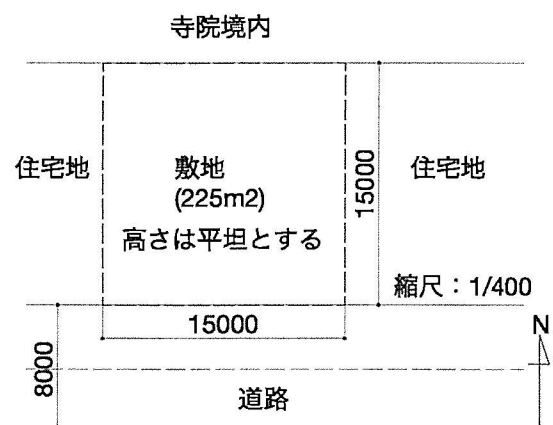
以下の4種類をバランスよく, 見易いように解答用紙にレイアウトすること。図面の縮尺は自由とし, 図面によって異なっても構わない。

1, 設定した共通する価値観や趣向とその必然性, 世帯設計の意図を含めた設計趣旨を説明する文章200字程度。

2, 配置図兼地上階平面図及び各階平面図(占有空間と共有空間, 各世帯の人数が分かるように明記すること)。各図面の縮尺を記すこと。

3, 断面図1枚以上。平面図に断面記号を記すこと。

4, 共有空間及び占有空間の内観パース各1枚ずつ以上。平面図に記号を付すなど, 該当箇所を明示すること。



2026年9月・2027年4月入学試験問題

大学院創造理工学研究科修士課程 建築学専攻

科目名： 都市計画学問題番号

3

【設問1】

以下の著者名（和文）と書名（英文）を正しく組み合わせよ。

- | | |
|------------------|---|
| (1) イアン・マクハーグ | (A) Cities in Evolution |
| (2) エベネザー・ハワード | (B) The Concise Townscape |
| (3) ケヴィン・リンチ | (C) The Culture of Cities |
| (4) ゴードン・カレン | (D) The Death and Life of Great American Cities |
| (5) ル・コルビュジエ | (E) Design for Ecological Democracy |
| (6) ジェイン・ジェイコブズ | (F) Design with Nature |
| (7) パトリック・ゲデス | (G) The Image of the City |
| (8) ランドルフ・T・ヘスター | (H) The Radiant City |
| (9) ルイス・マンフォード | (I) To-morrow: A Peaceful Path to Real Reform |
| (10) レイモンド・アンウィン | (J) Town Planning in Practice |

【設問2】

地球温暖化に伴う気候変動を受けて、今後、都市計画の観点から、どのような方策が求められるかについて、以下の5つの用語をすべて用いて600文字以内で述べよ。5つの用語は下線を引いて示せ。

「コンパクトシティ」、「グリーンインフラ」、「カーボンニュートラル」、「団体自治」、「住民自治」

【設問3】

わが国の人口減少を前提に、都市計画の観点から、(1)大都市圏郊外、(2)地方都市中心市街地、(3)中山間地域に対して、どのような方策が求められるかについて、それぞれ300文字以内で述べよ。

2026年9月・2027年4月入学試験問題

大学院創造理工学研究科修士課程 建築学専攻

科目名： 環境工学

問題番号

4

1. 建築環境に関する以下の文章の[]内に適切な言葉を答えよ。

- (1) 光は電磁波の一種であり、人間の眼が感じることのできる波長は[①]～[②]nm である。視野の中に他の部分と比較して高輝度な部分があることによって引き起こされる不快感を[③]という。
- (2) 火災時の煙の水平方向の移動速度は 1.0m/秒程度であるが、上昇速度はその 5～10 倍程度となることが知られており、階段やエスカレータ、エレベータシャフト等の[④]を介して煙が広がり、被害を大きくした事例も多い。そのため[④]区画により、煙を閉じ込めて他の階に伝播しないようにすることが重要である。
- (3) 居室避難の避難時間は、避難開始時間,[⑤]時間,[⑥]時間から計算可能である。
- (4) 機械換気には3種類あり、第[⑦]種換気は便所などの室内を負圧に保ち汚染空気等の流出を防止する場合に用いる。
- (5) 換気ダクトや配管内では摩擦による圧力損失が生じるが、その圧力損失は管の[⑧]に比例し、管の[⑨]に反比例する。乱流の場合、摩擦抵抗係数は[⑩]と管壁の相対粗さから求められる。

2. 次の用語に関して説明せよ。

- (1) 昼光率
(2) 日射熱取得率
(3) 煙制御
(4) 結露

3. モルタル仕上げ（厚さ $d=20\text{mm}$, 熱伝導率 $\lambda=1.1\text{W}/(\text{m}\cdot\text{K})$ ）のコンクリート外壁（厚さ $d=160\text{mm}$, 熱伝導率 $\lambda=1.6\text{W}/(\text{m}\cdot\text{K})$ ）に断熱材（厚さ $d=40\text{mm}$, 熱伝導率 $\lambda=0.04\text{W}/(\text{m}\cdot\text{K})$ ）を施工した。この厚さ 220mm の壁体に関して以下の問いに答えよ。計算過程も示すこと。但し、室内側の総合熱伝達率を $9[\text{W}/\text{m}^2\cdot\text{K}]$, 外気側の総合熱伝達率を $23[\text{W}/\text{m}^2\cdot\text{K}]$ とする。

(1) この壁体の熱貫流率 $[\text{W}/\text{m}^2\cdot\text{K}]$ を求めよ。

(2) 外気 0°C , 室温 20°C で一定になっていると仮定したとき、この壁体 10m^2 を流れる熱流を求めよ。但し、日射の影響はないものとする。

2026年9月・2027年4月入学試験問題

大学院創造理工学研究科修士課程 建築学専攻

科目名： 建築構造学

問題番号

5

1. 図1に示すトラス構造物について、以下の問いに答えなさい。部材のヤング係数は E 、断面積は A である。構造物への外力としては、B 点に P の鉛直荷重が作用し、B 点に v の鉛直変形が生じている。題意に沿った解答であることがわかるよう、解答の計算過程も示しなさい。なお、部材の座屈は考慮しなくてよい。
- (1) 外力による仕事とひずみエネルギーを求め、それらを用いて B 点の鉛直変形 v を求めなさい。
- (2) B 点に鉛直変形 v が生じていることによる A, B, C 点の幾何学的関係性を用いて、鉛直変形 v を求めなさい。なお、(1) の過程で求めた軸力、軸ひずみなどを用いてよい。

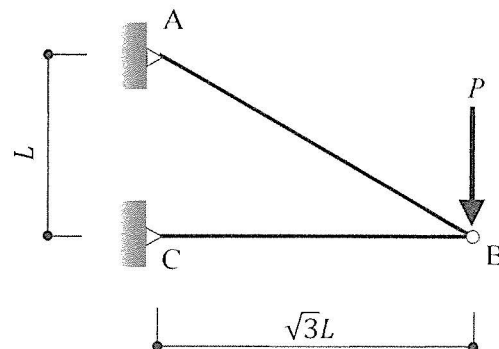


図1

2. 図2に示す断面を持つ梁部材について、以下の問いに答えなさい。題意に沿った解答であることがわかるよう、解答の計算過程も示しなさい。図中の数値の単位は cm とする。
- (1) 部材の図心位置を、1cm 単位の数値で明示し、図示しなさい。1cm 未満の数値に関しては四捨五入すること。
- (2) 図心周りの断面2次モーメント I_z , I_y を求めなさい。解答の数値は有効数字3桁で示し、単位も記入すること。また(1)に示した図心位置の数値を用いる場合は cm 単位の数値を計算に用いること。

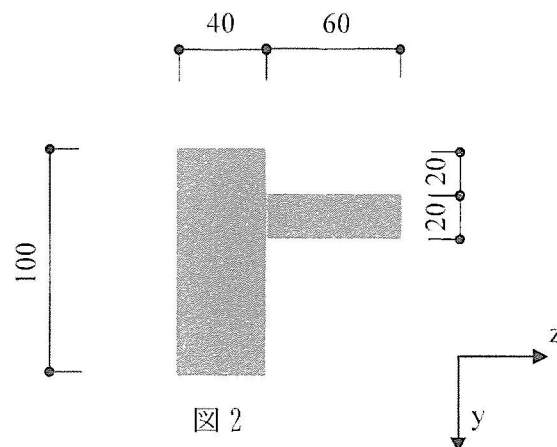


図2

2026年9月・2027年4月入学試験問題

大学院創造理工学研究科修士課程 建築学専攻

科目名： 建築生産学

問題番号

6

【1】 次の設問 1-1), 1-2)および 1-3)の中から 2つを選択して答えなさい。選択した設問の番号を解答用紙の四角囲みの中に記入すること。

1-1) コンクリート工事においてスランプ試験を行う目的を説明しなさい。

1-2) 砂岩が床仕上げに適さない理由を説明しなさい。

1-3) フロート法で製造した板ガラスの特長を説明しなさい。

【2】 以下の語句について、説明しなさい。

2-1) QCDSE

2-2) CFT

【3】 次の用語の組み合わせについて、相互の違いがわかるようにそれぞれの意味を説明しなさい。

3-1) 鉄骨鉄筋コンクリート造／型枠コンクリートブロック造

3-2) 窓台／まぐさ

3-3) 基礎／土台

【4】 次の設問 4-1), 4-2)および 4-3)のすべてに答えなさい。

4-1) ある建設チームは、6日間で120枚の壁パネルを設置する計画である。このチームは、1日目に15枚、2日目に18枚、3日目に22枚の壁パネルを設置した。この時点で、工程は予定通りか、遅れているかを説明しなさい。

4-2) 建設プロジェクトにおけるドローン測定の利点を説明しなさい。

4-3) あるスマート建設現場では、AIおよびS1とS2のセンサを使用してデジタル出勤管理システムを使用している。センサS1では、作業員が現場に到着した場合は1、到着していない場合は0、また、センサS2では、IDカード認証に成功した場合は1、IDカード認証に失敗した場合は0とする。AIは、どのようなケースで「本人確認アラート」および「通常運転」と判定するか、それぞれについてルールを説明しなさい。

2026年9月・2027年4月入学試験問題

大学院創造理工学研究科修士課程 建築学専攻

科目名： 設計製図

問題番号

7

各自が制作した建築設計製図作品2点(作品A・B)を提出しなさい。作品は、オリジナル作品に限る。
提出作品は面接の際に返却する。

なお、作品A・Bのそれぞれについて、以下の項目を解答用紙に簡潔に記入しなさい。

1. 課題名 (例：学部3年設計製図課題「美術館」, 自主的に制作した作品の場合はその旨を明記)
2. 個人制作, 共同制作の別
3. 作品名 (あなた自身が付けた作品名, 作品名がない場合は「無題」と表記)
4. 作品概要について説明 (200字程度)

受験番号					
氏 名					
志願研究 指導名					

※「1」と「7」、「4」と「9」は明確に区別して書くこと

No.

1	/	7
---	---	---

採点欄

2026年9月・2027年4月入学試験問題
大学院創造理工学研究科修士課程 建築学専攻

※裏面の使用は不可

選択 問題番号	1	科目名	建築歴史学
---------	---	-----	-------

1.
1) 2) 3) 4)

2.
選択 1 : _____

選択 2 : _____

選択 3 : _____

選択 4 : _____

3.
選択したもの（いずれかひとつに○をつける）： a) b) c)

1) 年

2)

3)

受験番号					
氏 名					
志願研究 指導名					

※「1」と「7」、「4」と「9」は明確に区別して書くこと

No.

2	/	7
---	---	---

採点欄

2026年9月・2027年4月入学試験問題
大学院創造理工学研究科修士課程 建築学専攻

※裏面の使用は不可	選択	問題番号	2	科目名	建築計画学

受験番号					
氏 名					
志願研究 指導名					

※「1」と「7」、「4」と「9」は明確に区別して書くこと

No.

3

 /

7

採点欄

2026年9月・2027年4月入学試験問題
大学院創造理工学研究科修士課程 建築学専攻

※裏面の使用は不可

選択 問題番号	3	科目名	都市計画学
---------	---	-----	-------

【設問1】 正しい組み合わせになるように、書名欄に記号を記せ。

著者名	書名（記号）
(1) イアン・マクハーグ	
(2) エベネザー・ハワード	
(3) ケヴィン・リンチ	
(4) ゴードン・カレン	
(5) ル・コルビュジエ	
(6) ジェイン・ジェイコブズ	
(7) パトリック・ゲデス	
(8) ランドルフ・T・ヘスター	
(9) ルイス・マンフォード	
(10) レイモンド・アンウィン	

【設問2】 5つの用語は下線を引いて示せ。(600文字以内)

【設問3】

- (1) 大都市圏郊外（300文字以内）
- (2) 地方都市中心市街地（300文字以内）
- (3) 中山間地域（300文字以内）

受験番号					
氏 名					
志願研究 指導名					

※「1」と「7」、「4」と「9」は明確に区別して書くこと

No.

4

 /

7

採点欄

2026年9月・2027年4月入学試験問題
大学院創造理工学研究科修士課程 建築学専攻

※裏面の使用は不可

選択	問題番号	4	科目名	環境工学
----	------	---	-----	------

1.

①	②	③
④	⑤	⑥
⑦	⑧	⑨
⑩		

2.

(1)

(2)

(3)

(4)

3.

(1)

(計算過程)

(2)

(計算過程)

答え

答え

受験番号					
氏 名					
志願研究 指導名					

※「1」と「7」、「4」と「9」は明確に区別して書くこと

No.

5

 /

7

採点欄

2026年9月・2027年4月入学試験問題
大学院創造理工学研究科修士課程 建築学専攻

※裏面の使用は不可

選択 問題番号	5	科目名	建築構造学
---------	---	-----	-------

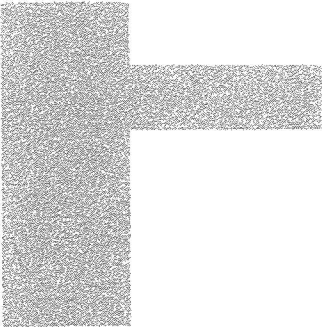
1.
(1)

B 点の鉛直変形：_____

(2)

B 点の鉛直変形：_____

2.
(1)



断面における図心位置の図示

(2)

図心周りの断面 2 次モーメント I_z ：_____ I_y ：_____

受験番号					
氏 名					
志願研究 指導名					

※「1」と「7」、「4」と「9」は明確に区別して書くこと

No.

6	/	7
---	---	---

採点欄

2026年9月・2027年4月入学試験問題
大学院創造理工学研究科修士課程 建築学専攻

※裏面の使用は不可	選択 問題番号	6	科目名	建築生産学
【1】 【2】 2-1) 2-2)				

【3】
3-1)
3-2)
3-3)
【4】
4-1)
4-2)
4-3)

受験番号					
氏 名					
志願研究 指導名					

※「1」と「7」、「4」と「9」は明確に区別して書くこと

No.

7	/	7
---	---	---

採点欄

2026年9月・2027年4月入学試験問題
大学院創造理工学研究科修士課程 建築学専攻

※裏面の使用は不可

選択 問題番号	7	科目名	設計製図
---------	---	-----	------